

unordered list

&lt;ul&gt; &lt;/ul&gt;

## 順不同リストを表す

タイプ	ブロックレベル要素
包含	li 要素

順不同リストを表します。順不同リストとは、項目の順序に意味がない箇条書きのことになります。例えば、イベント参加に必要な条件や持ち物リスト、レストランのメニュー（コース料理を除く）などが当てはまります。

ul 要素を入れ子（ネスト）にした階層構造を持つリストも作成できますが、ul 要素の直下には、li 要素しか置けないいため、必ず li 要素の子要素として別の ul 要素を使用する必要があります。

### Point

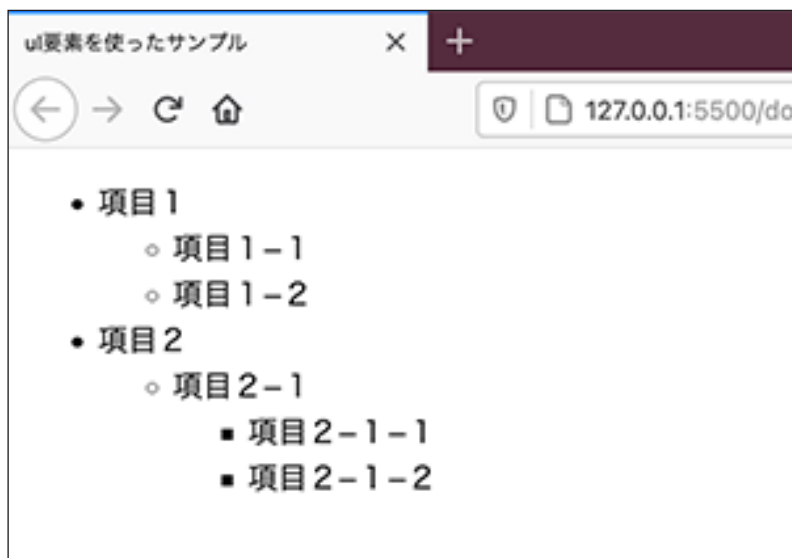
ul 要素の項目は、通常トッド、円形、四角などいくつかの形式による行頭記号が表示されます。行頭記号のスタイルはスタイルシートを使って変更することが可能です。

多くの Web サイトは、デフォルトの行頭記号は表示しないスタイルシートの指定が行われています。

## 使用できる属性（この要素はグローバル属性を持ちます）

## サンプル

```
<body>
  <ul>
    <li>項目 1
      <ul>
        <li>項目 1 - 1 </li>
        <li>項目 1 - 2 </li>
      </ul>
    </li>
    <li>項目 2
      <ul>
        <li>項目 2 - 1
          <ul>
            <li>項目 2 - 1 - 1 </li>
            <li>項目 2 - 1 - 2 </li>
          </ul>
        </li>
      </ul>
    </li>
  </ul>
</body>
```



ordered list

&lt;ol&gt; &lt;/ol&gt;

## 順序付きリストを表す

### タイプ

ブロックレベル要素

### 包含

li 要素

順序付きリストを表します。順序付きリストとは、項目の順序に意味のある箇条書きのことになります。例えば、レシピの手順や道順、コース料理のメニューなどが当てはまります。

ol 要素を入れ子（ネスト）にした階層構造を持つリストも作成できますが、ol 要素の直下には、li 要素しか置けないいため、必ず li 要素の子要素として別の ol 要素を使用する必要があります。

#### Point

ol 要素の項目は、先頭に数字や文字などのマーカーが表示されます。

多くの Web サイトは、デフォルトのマーカーは表示しないスタイルシートの指定が行われています。

ul 要素と ol 要素どちらのリストを使うか迷った際は、項目の順序を変更してみて、意味が変わるようであれば ol 要素を使用し、そうでなければ ul 要素を使用することができます。

## 使用できる属性（この要素はグローバル属性を持ちます）

### reversed（論理属性）

リストの項目順序が逆順で指定されていることを指定します。

マーカーの順序が大きい方から小さい方へ逆順に番号付けされます。

### start

リストの項目番号の開始を指定します。番号付けの形式が数字以外の場合でも値は、数字のみで指定します。

### type

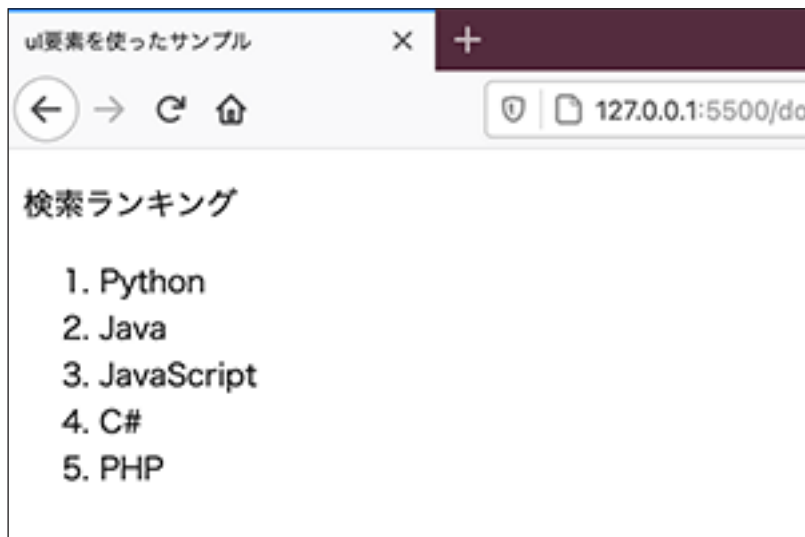
リストの項目番号の形式を指定します。

法律文書などのように項目番号の種類に重要性がない限り、スタイルシート使って形式を指定してください。

値	説明
1	「1」「2」「3」といった数字でリストの項目番号を表します。
a	「a」「b」「c」といった小文字の英字でリストの項目番号を表します。「z」以降は「ba」～「bz」と続きます。
A	「A」「B」「C」といった大文字の英字でリストの項目番号を表します。「Z」以降は「BA」～「BZ」と続きます。
i	「i」「ii」「iii」といった小文字のローマ数字でリストの項目番号を表します。
I	「I」「II」「III」といった大文字のローマ数字でリストの項目番号を表します。

## サンプル

```
<body>
  <p>検索ランキング</p>
  <ol>
    <li>Python</li>
    <li>Java</li>
    <li>JavaScript</li>
    <li>C#</li>
    <li>PHP</li>
  </ol>
</body>
```



list item

&lt;li&gt; &lt;/li&gt;

## リストの項目を表す

### タイプ

ul 要素、ol 要素の子要素

### 包含

ブロックレベル要素 インラインレベル要素

リストの項目を表すのに用いられます。この要素は、ul 要素または、ol 要素の子要素として配置する必要があります。

## 使用できる属性（この要素はグローバル属性を持ちます）

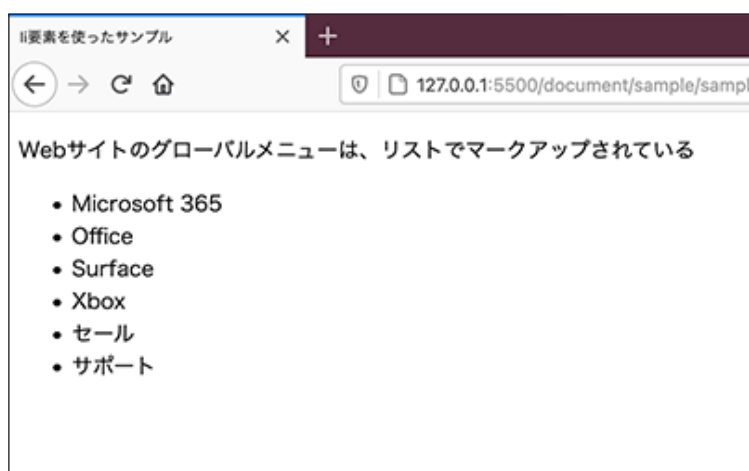
### value

ol 要素の要素の子要素として配置されている時のみ、リストの項目番号のを指定することができます。

HTML4 で非推奨となりましたが、HTML5 で再導入されました。

## サンプル

```
<p>Webサイトのグローバルメニューは、リストでマークアップされている</p>
<ul>
  <li>Microsoft 365</li>
  <li>Office</li>
  <li>Surface</li>
  <li>Xbox</li>
  <li>セール</li>
  <li>サポート</li>
</ul>
```



description list

&lt;dl&gt; &lt;/dl&gt;

## 説明リストを表す

### タイプ

ブロックレベル要素

### 包含

dt 要素 dd 要素

説明リストを表します。dl 要素は、一連の用語（dt 要素）と説明（dd 要素）をリスト化したものです。一般的な使用例として、用語集やメタデータ（キーと値）の表示などがあります。

## 使用できる属性（この要素はグローバル属性を持ちます）

### Point

dt 要素で記述された語句に対しての説明は、後続する dd 要素で言及されていなければいけません。

MDN Web Docs : <https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/HTML/Element/dl>

description term

&lt;dt&gt; &lt;/dt&gt;

## 説明リストの語句を表す

### タイプ

dl 要素の子要素

### 包含

インラインレベル要素

dl 要素の定義リストにおける語句となる部分を表します。

## 使用できる属性（この要素はグローバル属性を持ちます）

MDN Web Docs : <https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/HTML/Element/dt>

content division

&lt;dd&gt; &lt;/dd&gt;

## 説明リストの説明文を表す

### タイプ

dl 要素の子要素

### 包含

インラインレベル要素

dl 要素の定義リストにおける説明文となる部分を表します。

## 使用できる属性（この要素はグローバル属性を持ちます）

## サンプル

```
<h1>よくある質問</h1>
<dl>
  <dt>ベンダー資格と国家資格の違いを教えてください</dt>
  <dd>
    ベンダー資格とは、企業が自社製品に関する知識や技術力を問う資格。<br>
    国家資格とは、国が認定している資格で、ITに関する総合的な知識や技術力を問う資格。
  </dd>
  <dt>情報処理の資格試験にはどのようなものがありますか？</dt>
  <dd>基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、レベル4難易度のネットワークスペシャリスト試験などがあります。
</dd>
</dl>
```

